



希望の鐘

宇部市立見初小学校
令和6年11月26日

児童数
97人
(11/26現在)

<学校教育目標>

さわやかに、かしこく、たくましく未来を拓く見初っ子の育成

多様な体験の中で学ぶということ

校長 川本 朋子

冬の到来を感じさせる寒さに、やはり「日本は四季のある国だなあ」と思います。昨今、異常気象の話題がニュースでも流れて、作物の生育などに影響があるように言われていますが、これまで当たり前に巡って来ていた冬を感じると、どんな冬を過ごそうかと楽しみな気持ちになってきます。

2学期を振り返ってみると、様々な学習が繰り広げられてきました。本校の**学校経営方針**の一つに、「**未来に向かって生きる力を育む組織的・計画的な教育活動の展開（学力向上・体験的活動等）**」を掲げています。それぞれの学年が発達段階に応じた教育活動を仕組み、体験を充実させてきています。

さて「未来に向かって生きる」とは、どういうことでしょうか。人口減少や少子高齢化、グローバル化の進展や生成AIの出現などに象徴される技術革新など、想像をはるかに超えた社会の変化により、予測困難な未来が待ち構えています。

それでも、子どもたち一人ひとりが自分らしさを失わず、社会の中で生き生きと過ごしてほしいと願います。そのためには様々なことに柔軟に向き合い、対応する力を身に付けていかななくてはなりません。その素地をつくっていくためにも、多様な体験活動が重要になってくると考えます。

低学年では、生活科で植えたサツマイモを収穫したり、ときわ公園で動物と触れ合ったりしました。3年生は社会見学で宇部の発展の象徴でもある工場見学や生活に関連の深いスーパーマーケットの見学をしました。4年生は環境学習で市の出前講座によるダンボールコンポストでのたい肥作りやペットボトルリサイクル学習を行いました。5年生は今後、認知症サポーターの養成講座（小学生版）を受講し、高齢化が進んでいると言われる見初地域への理解を深めようとしています。6年生は平和学習で平和の大切さを学びました。今後、見初地域の子育てサークル「ヨチヨチランド」に参加し、乳幼児さんと触れ合う機会をもつことになっています。

教室の中だけの学習ではなく、広く社会を知るための学習を積み重ねることによって、未来に向かって生きる力を少しでも身に付けていけるとよいと思います。

未来に不安ばかりを持つのではなく、希望を持って進んでほしいと願っています。そしてどんな未来に生きることになろうとも、子どもたちには、この鮮やかな日本の四季の彩を深く感じ取れる、心情豊かな人として育ててほしいと願うばかりです。



6年生
広島での平和学習



4年生
ペットボトルリサイクル

子どもたちの
体験的な学
習の様子は、
HPでも紹介
しています。ご
覧ください。

見初小HP



12・1月行事予定 (11月26日現在)

日	曜	行 事
12 月		
1	日	見初人権教育推進大会 (見初ふれあいセンター 10:00~)
2	月	クラブ活動
4	水	持久走大会 (予備日: 12月5日)
6	金	あおぞら号
9	月	委員会活動
13	金	スクールカウンセラー来校
15	日	いこいの日
17	火	第2回小中合同学校運営協議会 (15:40 神原中)
19	木	文化芸術派遣事業 (3回目)
20	金	2学期給食最終日
23	月	個人懇談会 児童下校 9:15
24	火	終業式 児童下校 11:05
25	水	冬季休業
27	金	学校閉庁日
1 月		
6	月	学校閉庁日
8	水	始業式 児童下校 11:50
9	木	給食開始
13	月	成人の日
15	水	集団下校 いこいの日
20	月	委員会活動 (新委員会)
21	火	教育相談週間 (28日まで) 3・4年市学力定着状況確認問題実施
23	木	6年薬物乱用ダメ。絶対。教室
27	月	代表委員会 (3~5年参加)
29	水	地区児童会 見守り隊感謝の会 集団下校

12月 生活のめあて

思いやりをもって生活しよう

- ・ ふわふわ言葉を使う
- ・ 感謝の気持ちを伝える

☆お知らせ☆

シグフィでの欠席連絡について

宇部市のメール配信システム「Sigfy (シグフィ)」には、欠席遅刻連絡機能があります。見初小学校でも、欠席遅刻連絡機能の運用を開始いたしました。

今まで通りの、連絡帳や電話での連絡に加え、Sigfyでの連絡もご活用ください。アプリ画面の左下から連絡できるようになっています。

児童の帰宅時刻について

10月より、児童の帰宅時刻が5時になっています。5時までには家に帰っているよう、ご家庭でもお声がけください。

★コミスクだより★

○学校保健安全委員会

11月21日(木)、5・6年生の児童と保護者、地域の方、教職員が参加し、学校保健安全委員会が行われました。今年度は朝食の重要性を確認し、主体的に朝食を摂ることができる児童の育成を目的として、朝食について深く学び、自分たちで朝食レシピを実際に調理しました。

